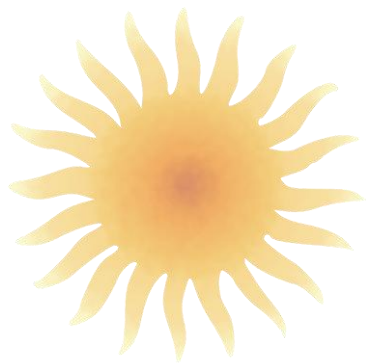


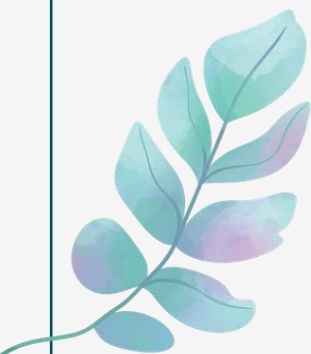


独立行政法人国立高等専門学校機構
函館工業高等専門学校



学校だより

第222号～令和8年9月号～



目次

○ご挨拶

校長より	1
副校長（教務主事）より	2
副校長（学生主事）より	3
副校長（寮務主事）より	4
専攻科長より	5

○進路関係

進路支援室長より	6
令和7年度本科卒業生・専攻科修了生の進路先	7

○各学科・コース紹介

生産システム工学科機械コース長より	9
生産システム工学科電気電子コース長より	9
生産システム工学科情報コース長より	10
物質環境工学科長より	10
社会基盤工学科長より	11

○本科新1年生代表学生からの挨拶

○第1学年・第5学年主任より

第1学年主任より	13
第5学年主任より	13

○学生会長からの挨拶

○報告

授業参観・保護者懇談会実施報告	15
広報イベント実施報告	16
令和8年度高専体育大会 北海道地区予選結果	17

○洋上風力人材育成プログラムについて

○新任教員紹介

○新任事務職員等紹介

○今後の主な行事予定



ご挨拶

「とどこおりのう（滞り無く）」
そして「とこわか（常若）」

校長 清水 一道



函館工業高等専門学校の皆様、そして保護者や地域の皆様。校長の清水一道です。私が函館高専の校長に就任してから、早いもので1年半が経過いたしました。この間、学生たちの瑞々しい成長の姿に日々刺激を受けながら、本校が目指すべき未来の姿について深く思索を重ねてまいりました。この節目にあたり、日本の伝統的な思想に宿る二つの美しい言葉を引きながら、これからの函館高専のあり方について私の思いをお伝えしたいと思います。

その言葉とは、「とどこおりのう（滞り無く）」、そして「とこわか（常若）」です。

神道の思想において、物事や気が一箇所にとどまらず、スムーズに流れている状態を最も清らかで健全であると捉えます。逆に、水が留まると濁るように、変化を拒み、過去の成功体験や古い慣習に固執して停滞することは、組織の活力を削ぐ「滞り」となります。就任以来、私は学校運営や教育環境において、この「滞り」をなくすことを意識してきました。教職員の対話を活性化させ、社会のニーズをいち早くカリキュラムに反映し、学生たちが果敢に挑戦できる環境を「滞り無く」循環させること。それこそが、健全な学校組織の基盤であると考えています。

そして、この滞りのない巡りの先にある理想の姿が「常若（とこわか）」です。日本人は古くから、不老不死という不自然な永遠を求めるのではなく、古くなったものを刷新し、循環させることで「常に若々しく、新しく、瑞々しい状態」を保ち続けてきました。その最たる象徴が、20年に一度社殿を建て替える伊勢神宮の式年遷宮です。

学校という組織も全く同じです。伝統を守ることは、形をそのまま固定化することではありません。時代に合わせて古い仕組みを潔く流し去り、新しい技術や多様な価値観を大胆に取り入れ、組織全体を「常に代謝させていく」こと。これによって初めて、函館高専はいつでもエネルギーに満ちあふれた「常若」の存在であり続けることができるのです。

これからの時代を生きる学生たちには、この2つの言葉を体現する存在になってほしいと願っています。自らの知識や思考を「滞り無く」アップデートし、失敗を恐れず自己刷新を繰り返すことで、生涯にわたって「常若」の精神を保ち続けるエンジニアへと育ててほしいのです。

就任2年目を迎え、函館高専はさらに力強く、この新陳代謝のサイクルを加速させてまいります。古い殻を脱ぎ捨て、常に新しく生まれ変わり続ける本校の挑戦に、今後とも温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ご挨拶



自律した学びを目指して

副校長（教務主事） 山本 けい子

今年度も教務主事を務めます山本です。どうぞよろしくお願いいたします。教務の立場から、学生の学習や生活面についてお伝えします。

新年度が始まり、数か月が経ちました。日々、学生たちの様子を見てみると、成長を頼もしく感じる場面が多くある一方で、気になることもあります。

1つは、授業中のスマートフォンの使用です。授業中に許可なくスマートフォンを操作している様子が見受けられます。「少しだけ」のつもりでも、自分自身の学習を妨げるだけでなく、周囲の学習環境にも影響を及ぼします。授業開始前には手元に置かず、カバンやロッカーにしまうことを徹底してください。一人ひとりが学習に集中できる環境をつくることも、学生としての大切な責任です。

もう1つは、課題やレポートなどの提出物についてです。期限を守り、指示された内容に沿って仕上げる力は、自ら計画を立て、責任を持ってやり遂げる力を養う大切な訓練です。地道なことに思えるかもしれませんが、これらはエンジニアをはじめ、あらゆる職業で求められる基礎的なスキルです。やるべきことを確実にやり遂げる誠実な姿勢は、周囲からの信頼に繋がります。学生のうちから、ぜひ身につけてほしいと思います。

その一方で、多くの学生が着実に成長していることも実感しています。教員室前で熱心に勉強する姿、掃除を進んで手伝う姿、授業や学校行事に前向きに取り組む姿、仲間と協力している姿など、主体的に行動する様子が随所に見られ、大変頼もしく思っています。また、探究心を持って実験や実習に粘り強く取り組む学生もあり、将来の活躍が楽しみです。

高専での学びは、専門的な知識や技術を身につけるだけでなく、「自分で考え、自分で決め、自分で行動する」という自律的な姿勢を育む場でもあります。今の努力は、将来の自分への投資です。ひとつひとつの積み重ねが、数年後の選択肢を大きく広げてくれます。また、常に支えてくれる家族や周囲の方々への感謝を忘れず、共に学ぶ仲間を大切にしながら、誠実に学校生活を送ってください。そうした姿勢は、社会に出てからの確かな力になるはずです。

これからも、学生の皆さんが自らを律し、主体的に学ぶ姿勢を身につけられるよう支援してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ご挨拶

数学が導く成功への道

副校長（学生主事） 平沢 秀之



10数年前の3月、Aさんは夢と希望を胸に函館高専を巣立った。Aさんは、成績はほぼ最下位だったが無事卒業して希望の会社へ就職した。5年生の時、Aさんは設計製図の授業で苦労した。与えられた設計条件に従って計算を進め、必要な強度を確保しながら最適な形状、寸法を決めていく。Aさんは何度も計算途中でつまづき、再計算を余儀なくされた。こちらも正解を出させるため計算の仕方を根気よく教えた。彼は単に結果を出すだけでなく内容も理解しようと努力した。ぶっきらぼうな性格だったが意地もあり、分からないままにしておきたくないと粘った。時間はかかったが計算をすべて完了させた。

Bさんは努力家で成績は極めて優秀。席次はほぼクラストップだった。Bさんは、設計製図は自力でできる。設計製図の授業中に計算のチェックを何度も行うが、毎回、計算間違いはほとんどない。他の学生に指導もできるほど内容を理解している。Bさんはその他の科目も含めて学業に関しては申し分ない学生だった。卒業後は国立大学へ編入し、その後大学院へ進学、大手企業への就職も果たし希望通りの進路を突き進んでいる。

これら2つの事例は、一方は成績下位のケース、もう一方は成績上位のケースであったが、卒業後の進路はそれぞれ自分の希望する進路を獲得しており、学生時代に描いた希望の人生を歩んでいる成功例だ。

ここで、函館高専の学生をCさんとおく。Cさんのほとんどは、成績に関してAさんとBさんの間のレベルと考えられる。これを不等式で表すと、

$$B \leq C \leq A$$

となる。次に、 α を「成功」とおくと、

$$B \rightarrow \alpha, A \rightarrow \alpha$$

が成り立っている(矢印は「収束」の意)。数学の教えによると、

「 $B \leq C \leq A$ のとき、 $B \rightarrow \alpha$ 、且つ $A \rightarrow \alpha$ であるならば、 $C \rightarrow \alpha$ 」

が成り立つ。これを「はさみ打ちの原理」という。よって、はさみ打ちの原理により、Cさん、すなわち函館高専のみなさんは成功への道を歩むことになるのだ。

ただし、Cさんにおいても、「努力」は必須の条件だ。

ご挨拶

寮生活は大変だ

副校長（寮務主事） 鳴海 雅哉



今年度4月より寮務主事を務めております一般系の鳴海雅哉です。どうぞよろしくお願いいたします。

私はこれまでも、教員として春潮寮にさまざまな形で関わってまいりました。その中で、多くの寮生が日々成長していく姿を見てきましたし、寮生活ならではの苦労も数多く目にしてきました。

寮生活は決して楽なものではありません。家族と離れ、多くの仲間と共同生活を送り、起床や食事、点呼などは決められた時間に従って生活しなければなりません。食事も家庭料理ではなく業者の方が心を込めて作ってくださるものをいただきます。個人的には美味しく感じられるのですが、毎日だと飽きるとの声があります。また、春潮寮は決して新しい施設ではなく、老朽化による不便さを感じる場面もあるでしょう。そのような環境の中で毎日を過ごすことは、みなさんにとって決して簡単なことではないと思います。

しかし、そのような環境だからこそ身に付く力があります。それが、自ら考え、自ら行動し、自ら生活する力です。私は長年の春潮寮での関わりの中で、「自助・共助・公助」という考え方を大切にしています。

まず基本となるのは「自助」です。自分でできることは自分で考え、自分で行動する。生活を整え、困ったことがあればまず自分で解決しようと努力することが大切です。

それでも一人では難しいこともあります。そのようなときには、友人や先輩、後輩と協力し合う「共助」があります。寮生活は共同生活です。お互いに支え合い、助け合うことによって、一人では乗り越えられないことも解決できるでしょう。

そして、自助や共助だけではどうしても解決できない問題が生じたときには、私たち教職員が「公助」としてみなさんを支えます。困ったときには遠慮なく相談してください。しかし、その前にまずは自分で考え、仲間と協力する姿勢を大切にしてほしいと思います。

春潮寮は「教育寮」です。ここでの生活は、単に学校へ通うための住まいではありません。社会に出たときに必要となる、自立した生活力や他者と協力する力、人としての責任感を育てる大切な学びの場です。この寮生活を通して、一人ひとりが自分自身で生活できる力をさらに磨き、大きく成長してくれることを期待しています。私たち教職員も、その成長を全力で支えてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

ご挨拶

専攻科長より

専攻科長 宇月原 貴光



函館高専専攻科は、生産システム工学専攻（機械工学・電気電子工学・情報工学）、物質環境工学専攻（応用化学）、社会基盤工学専攻（土木工学）の3専攻から成り立ち、本科5年間で学んだ知識・能力を高め、広く産業の発展に寄与する人材を養成することを目的としています。函館高専専攻科は、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から特例適用専攻科の認定を受けているため、「学士」の学位は通例、同機構から課される試験を受験することなく取得することができます。

専攻科のカリキュラムにおける大きな特色として、「地域課題対応型創造実験」が挙げられます。この授業は、2～3人を1班として班毎に地域企業や自治体等から依頼された研究課題に取り組みます。本校教員の他、地域で活躍する技術者がマイスターとして指導にあたります。この、「地域課題対応型創造実験」では、報告書の作成、プレゼンテーションの機会も多く多面的なコミュニケーション能力を含めた総合的なエンジニアリングデザイン能力の育成が図られています。

専攻科1年生には、夏季休業期間中に15日間のインターンシップが必修となっています。専攻科では、海外で活躍できるグローバル人材の育成にも力を入れていることから、フランス、ベルギー、シンガポール等でのインターンシップを経験している学生が数多くいます。

研究に関しては、2年間にわたって取り組む特別研究Ⅰおよび特別研究Ⅱを指導教員の下で実施します。特別研究における研究成果に関しては、学会やシンポジウムで優れた研究発表を行い表彰された専攻科生が多数います。

専攻科修了後は、80%程度が就職、残りが大学院修士課程に進学しています。就職先は、建設業、情報通信業、製造業、インフラ、公的機関など多岐にわたります。大学院は、北海道大学大学院、東京科学大学大学院、筑波大学大学院、横浜国立大学大学院、豊橋技術科学大学大学院などの国立大学の大学院へ進学しています。学費の面から考えると専攻科から大学院への進学は魅力的なルートといえます。

最後となりますが、健康な身体なくしては何事も成し遂げることができません。皆さんは未来ある若者です。心と身体の健康を大切に、今後の学生生活を送ってください。

専攻科生の皆さんのさらなる活躍を期待しています。

進路支援室より



インタビュー授業



合同企業研究セミナー



進路支援室



進路支援室より

進路支援室長 阿部 勝正

進路支援室では、皆さんの就職・進学に関する活動をサポートするため、各種情報の収集・管理を行っています。企業の求人票やパンフレット、大学編入学の募集要項などを閲覧できるほか、「高専キャリアサポートシステム」を活用することで、Web上からも同様の情報を確認できる環境を整えています。

就職や進学は、自分の将来のキャリアを形づくる大切な選択です。近年は就職活動の時期が徐々に前倒しになる傾向にありますので、4年生や専攻1年生の皆さんはもちろん、低学年のうちから進路について考え、興味のある企業や業界について情報収集を始めてみることをおすすめします。進学を希望する皆さんも、「自分はどのような分野を学びたいのか」を意識しながら、幅広く大学や研究内容について調べてみてください。

また、進路支援室では低学年からのキャリア教育にも力を入れています。昨年度は3年生を対象に、企業の人事担当者や技術者をお招きした企業インタビュー授業を実施しました。参加した学生からは多くの質問が寄せられ、企業の皆様からも高い評価をいただきました。

このように、本校では5年間を通じて皆さんの進路実現を支援する体制を整えています。進路について考え始めたときや相談したいことがあるときは、ぜひ気軽に進路支援室へ足を運んでください。

令和7年度本科卒業生・専攻科修了生の進路先

令和8年3月 本科卒業生の進路先について

進 学 先									
生産システム工学科				物質環境工学科		社会基盤工学科			
機械コース		電気電子コース						情報コース	
函館高専専攻科	2	函館高専専攻科	2	函館高専専攻科	4	函館高専専攻科	6		
北海道大学	1	長岡技術科学大学	1	東京科学大学	1	室蘭工業大学	1		
千葉大学	2	豊橋技術科学大学	2	豊橋技術科学大学	4	北見工業大学	1		
長岡技術科学大学	3		高知大学	1	東京農工大学	1	長岡技術科学大学	2	
金沢大学	1		はこだて未来大学	1	長岡技術科学大学	6	豊橋技術科学大学	2	
豊橋技術科学大学	4				豊橋技術科学大学	4	岡山大学	1	
					明星大学	1			
					アルボカ/国際大学	1			
就 職 先 等									
生産システム工学科				物質環境工学科		社会基盤工学科			
機械コース		電気電子コース						情報コース	
ENEOS(株)	2	佐藤電気工事(株)	1	(株)福島建設	1	サントリー(株)	3	あおみ建設(株)	1
花王(株)	1	JFEプロジェクトワン(株)	1	(株)メデック	1	ZACROS(株)	1	鉄建建設(株)	1
ZACROS(株)	1	(株)北海電工	1	サンリソオートメーション(株)	1	第一三共(株)	2	東亜建設工業(株)	1
積水化学工業(株)	1	メタウォーター(株)	1	セイコーエプソン(株)	1	出光興産(株)	1	ドービー建設工業(株)	1
第一三共(株)	1	(株)SCREB/ファイナリティソリューションズ	1	セツコカートン(株)	1	中外製薬工業(株)	3	戸田建設(株)	1
日本製鋼所M&E(株)	1	フジテック(株)	1	アイ・システム(株)	1	東亜合成(株)	1	前田道路(株)	1
SMC(株)	1	東芝電波テクノロジー(株)	1	アイシン・ソフトウェア(株)	1	東亜石油(株)	1	日本ファブテック(株)	1
(株)佐藤製作所	1	ダイキン工業(株)	4	(株)AGEST	2	(株)SCREB/ファイナリティソリューションズ	1	東京水道(株)	1
シンセメック(株)	1	パナソニック コネクト(株)	1	伊藤忠テクノソリューションズ(株)	1	ダイキン工業(株)	1	東京都下水道サービス(株)	1
(株)SCREB/ファイナリティソリューションズ	2	(株)シマノ	1	(株)インテリジェントウェイブ	2	アズビル(株)	1	メーカーズシャツ鎌倉(株)	1
(株)東京精密	1	電源開発(株)	1	(株)エスイーシー	1	北海道警察	1	パソコン技術管理(株)	2
(株)ニコン	1	東京ガスネットワーク(株)	2	NECネットエスアイ(株)	1			(一財)北海道建設技術センター	1
(株)不二越	1	北海道電力(株)	2	(株)クレスコ	1			北海道	1
村田機械(株)	1	(株)ベリサーブ函館	1	(株)クレスコ・ネクシオ	1				
(株)メデック	1	三菱電機プラントエンジニアリング(株)	1	コムウェア(株)	1				
名古屋電機工業(株)	1	GATE	1	TDCソフト(株)	3				
富士フイルムホールディングス(株)	1			(株)DSB情報システム	1				
三菱重工機械システム(株)	1			デジタル・インフォメーション・テクノロジー(株)	1				
東京ガス(株)	1			日本ルクソールシステム(株)	1				
東海旅客鉄道(株)	1			(株)ネットブレインズ	2				
北海道空港(株)	1			BeeX	1				
東京エレクトロン(株)	1			(株)日立産業制御ソリューションズ	2				
いすゞエンジニアリング(株)	1			(株)日立情報通信エンジニアリング	1				
(株)シークス	1			(株)日立ハイシステム21	1				
パーソルクロステクノロジー(株)	1			(株)ユウシン	1				

令和7年度本科卒業生・専攻科修了生の進路先

令和8年3月 専攻科修了生の進路先について

進 学 先					
生産システム工学専攻		物質環境工学専攻		社会基盤工学専攻	
電気通信大学大学院	1	北海道大学大学院	1		
就 職 先 等					
生産システム工学専攻		物質環境工学専攻		社会基盤工学専攻	
(株)日立ハイテク	1	(株)カネカ	1	(株)横河ブリッジホールディングス	1
三波工業(株)	1	函館どつく(株)	1	日本データサービス(株)	1
セイコーエプソン(株)	1			国土交通省北海道開発局	1
太平洋セメント(株)	1				
デジタル・インフォメーション・テクノロジー(株)	1				
パナソニックITS(株)	1				
三菱電機ビルソリューションズ(株)	1				



(令和7年度卒業式・修了式)



生産システム工学科 機械コース紹介

生産システム工学科
機械コース長
川上 健作

生産システム工学科機械コースでは、機械工学の基礎から応用までを体系的に学び、未来のものづくりを支える実践的な技術者の育成を目指しています。

材料力学、熱力学、流体力学、機械設計、ロボット工学、制御工学などの専門科目を通じて、構造や設計、開発に必要な知識を習得するとともに、実験や実習を重視し、理論と実践を結び付けながら学ぶことで、課題解決能力や創造力を養います。

校内にはC A D室や3 Dプリンタ室、実習工場などの充実した設備が整備されており、C A Dによる3 DモデリングやNC工作機械、3 Dプリンタを活用した製作実習を通じて、社会で求められるデジタルものづくり技術を身に付けることができます。

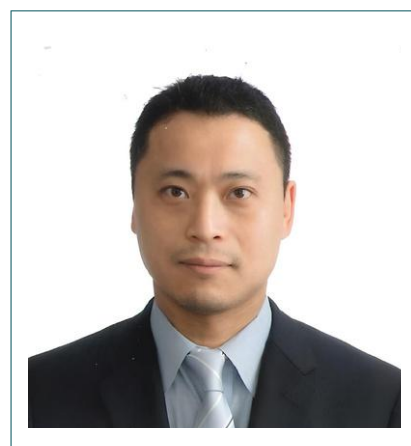
さらに、他コースの学生と協力して取り組む創造実験では、多様な専門分野の知識を融合しながら、コミュニケーション能力やチームワークを培います。

卒業後は、自動車、航空宇宙、ロボット、エネルギー関連産業など幅広い分野で活躍できるほか、大学や専攻科への進学を通じてさらに専門性を高める道も開かれています。機械コースは、確かな専門知識と実践力を兼ね備え、社会の発展に貢献できるエンジニアを育成するコースです。

電気電子工学は目立つこともあれば裏方に徹することもあります。あらゆる分野で絶対に必要とされます。つまり、社会の変化に強くて将来の選択肢がとても幅広いのです。事実、事業が多様化している現在においても様々な会社から求人が来ており、これからも電気電子分野が必要とされなくなることはないでしょう。このことを言い換えると、どんな仕事・職種についても対応できる基礎的な知識と実践的な技術の習得が非常に重要ということです。

電気電子コースでは電気回路・電磁気学・電子回路の3本の大きな柱とセンシング、計測・制御、通信やエネルギーなどの基礎的知識を学び、実験やプロジェクト・卒業研究を通じて「使える」実践的な技術として習得していきます。卒業する5年生の3月に自分を振り返った時に「ああ、自分は技術者として成長したな。すっかり電気電子の人間になったなあ」と成長を確実に実感できることを約束します。

私たち教員もみなさんの学業・生活の悩みや希望に寄り添い、楽しく安心・安全な学生生活をサポートします。一緒に成長していきましょう！



どんな仕事にも必要です 未来社会を支える 電気電子工学

生産システム工学科
電気電子コース長
森谷 健二



変化する社会に挑む 情報技術者を目指して

生産システム工学科
情報コース長
後藤 等

生産システム工学科情報コースでは、ソフトウェア、ハードウェアやネットワークを基盤として、急速に変化する社会で活躍できる情報技術者の育成に取り組んでいます。近年、情報技術は私たちの生活や産業を支える重要な基盤となり、端末側でAI処理を行うエッジAI、現実の設備や社会を仮想空間に再現するデジタルツイン、少ないコードでシステム開発を行うローコード技術、さらに省電力化や効率的なデータ活用を目指すグリーンITなど、その活用範囲はますます広がっています。

情報コースではプログラミング、情報数学、アルゴリズム、コンピュータのしくみやネットワーク技術など基礎を大切にしながら、実験や演習、卒業研究を通して実践的な技術を学びます。新しい技術を使いこなすためには、流行を追うだけでなく、その土台となる基礎知識をしっかりと身につけることが重要です。学生はさまざまな課題に取り組む中で、論理的に考える力、仲間と協力する力、課題を発見し解決する力を養います。社会の変化を前向きに捉え、地域や社会の課題を情報技術で解決し、新しい価値を創造できる人材の育成を目指しています。

物質環境工学科では、環境問題の解決や新素材の開発に貢献できる技術者の育成を目指し、化学や生物工学を基盤とした教育・研究を行っています。低学年では基礎科目に加え、実験や実習を通じて専門知識を実践的に活用する力を養います。高学年では、材料の特性を調べる分析装置の操作や、環境・バイオテクノロジー分野の専門的な講義や実習に取り組み、より高度な知識と技術を身に付けることができます。また、本学科では農水産物の規格外品や食品加工時に発生する未利用資源の有効活用に関する研究を進めています。地域との連携を重視しながら、持続可能な社会の実現に向け、未利用資源や地場産業の特色を活かした技術開発を通じて社会に貢献しています。

進路については、例年同様に就職・進学両方で高い実績を挙げています。令和8年度の就職と進学の割合は6：4となっており、7月末現在、就職希望者全員が内々定を得ています。就職先は製薬・化学関連企業を中心として、道外企業への就職が多くなっています。進学先は豊橋・長岡の両技科大や専攻科となっています。進路選択に悩むこともあると思いますが、ぜひ教員や先輩たちに気軽に相談して下さい。



物質環境工学科の紹介

物質環境工学科長
清野 晃之



未来へ繋ぐ技術を学ぶ

社会基盤工学科

社会基盤工学科長
佐々木 恵一

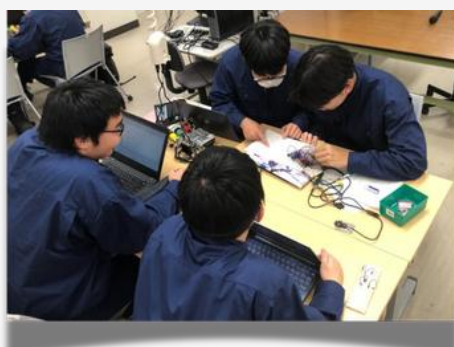
社会基盤工学科では、道路、橋梁、河川、港湾、上下水道など、人々の暮らしや産業活動を支える「インフラストラクチャー」について学び、安全で快適な社会の実現に貢献できる技術者の育成を目指しています。社会基盤は、普段は意識されることが少ない存在かもしれませんが、私たちの生活や地域経済を支える重要な役割を担っています。

そして近年は、自然災害の激甚化や人口減少、インフラの老朽化など、社会基盤を取り巻く課題がますます複雑化しており、それらに対応できる人材への期待が高まっています。さらに、技術が高度化し社会課題が多様化する現代においては、専門知識だけでなく、課題を発見し解決する力、他者と協働する力、そして自ら考え行動する力が求められており、学生一人ひとりが主体的に学び、成長できる環境づくりを進めています。

社会基盤工学は、人々の命と暮らしを支え、未来の地域や社会を形づくる学問です。学生たちは日々の学習や研究、課外活動を通じて、多くの挑戦と経験を重ねながら社会基盤工学の基礎を学んでいます。今後も、地域社会や関係機関との連携を大切にしながら、未来を担う技術者の育成に尽力してまいります。引き続き、本学科の教育・研究活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



実習工場での授業風景（機械コース）



生産システム創造実験（自立型ロボットの製作）



本科新 1 年生 代表学生からの挨拶

令和 8 年度入学生を代表して

1 年 1 組 片山 結愛



入学してから約 3 か月が経過しました。入学当初は、新しい環境や人間関係、勉強への不安で頭がいっぱいでした。しかし今では、優しく支えてくださる先生方や先輩方、そして明るく、仲間思いな友人に恵まれ、毎日をととても楽しく、充実して過ごすことができます。

そんな日々の中で特に印象に残っていることは、部活動です。私は女子バスケットボール部に所属し、日々の練習に励んでいる中で、不安なこともたくさんありますが、同じ思いを抱えている仲間や、優しく心強い憧れの先輩方と一緒に練習している時間が大好きで、私の中でとても大切な時間となっています。声を掛け合いながら 1 つの目標に向かって努力する日々は、自分自身の成長を実感するためにととても大切なことだと、部活動を通して改めて知ることができました。

また、学級での日々は、当初とても静かで真面目な印象を受けましたが、体育祭を終え、さらにクラスの絆が深まった今では、真面目だけど、とても面白くて明るく、友達思いで個性豊かなクラスだなと感じるようになりました。クラスメイトに恵まれ、毎日を楽しみ過ごせていることに、とても感謝しています。

私はこの 3 か月で、多くの人に支えられていることを実感するとともに、自分も少しずつ前に進めていると感じています。これからも感謝の気持ちを忘れずに、何事にも前向きに挑戦を続け、高専生活を楽しく過ごしていきたいと思っています。最後になりましたが、このように入学生代表としてご挨拶させていただけたことを、大変光栄に思います。この経験を今後の生活に生かし、これからも一步一步成長していけるように精一杯努力していきたいです。ありがとうございました。



第1学年・第5学年主任より



入学式、そして3か月

第1学年主任
牧之内 友

本年度の入学式が4月6日（月）に行われました。少子化が急速に進み、学校側としては、どこも志願者を集めるのに困難を覚える一方、学生・生徒の側からすれば、自分の希望する進学先をいろいろと考える余裕が少し生まれているようです。そのような中で、本校を受験し、これから5年間をこの学び舎で過ごすことを選択した新入生の皆さんに対して、大きな期待を持ちながら式に臨みました。新入生の皆さんは、やや緊張気味のようでしたがどうだったでしょうか。

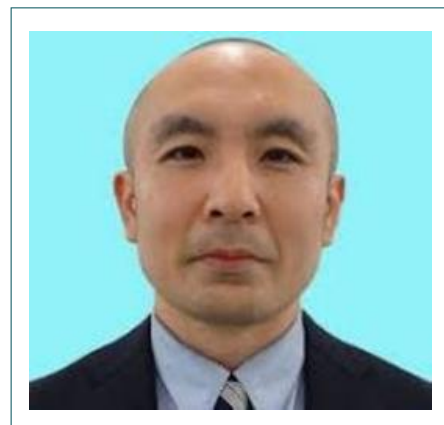
入学してはや3ヶ月、近年とみに暑い函館の夏になろうとしています。当初は校舎で迷っている姿も多くありましたが、今はそんなこともほほえないように思われます。校訓に「汝が夢を持て、大志を抱け、力強かれ」とあります。夢を持ち、大志を抱き、力を強くするのは学生の皆さん自身です。教職員はそのお手伝いをするにすぎません。入学当初と同じく、皆さんには大きな期待を寄せています。1年生の皆さんはどうでしょうか。初志貫徹の人はより強く、初志を忘れかけている人はいま一度思い起こしてほしい。

卒業時に「後生畏るべし」と言わしめる皆さんになっていることを望みます。

令和8年度第5学年の学年主任の吉田圭輔です。5年生の皆さんはいよいよ最終学年ですね。最後の一年の学校生活を楽しんでいますか？卒業研究に追われている人もいれば、進路活動に取り組んでいる人もいるでしょう。目の前のやるべきことに向き合っている人がほとんどだと思います。

ところで、来年の今頃の自分について想像をしたことがありますか？新生活に慣れているのでしょうか、それともまだ故郷が恋しいのでしょうか。当たり前のことですが、今一度覚えておいてほしいことがあります。未来は今日の延長線上にあるということです。新年度の4月1日になった瞬間に自分が劇的に変化することなどあり得ません。せいぜい3月31日より少し髭が伸びているくらいです。それでは、新生活のスタートのために“今日”何ができるでしょう。学校生活で考えると、遅刻をしない、レポート・試験をやっつけ仕事にしない、といったところでしょうか。丁寧に今日を生きることの積み重ねが大切だと思います。

高専生活も残り1周、見えているのはゴールであると同時に次のスタートです。ラストスパートをぜひ次の良いスタートに繋げてほしいと思います。



ラストスパート

第5学年主任
吉田 圭輔

学生会長からの挨拶

全員で作りに上げた燎（かがり火）

学生会長

4年社会基盤工学科 古澤 碧基



皆さん、こんにちは。学生会長の4年社会基盤工学科の古澤碧基です。

さて、本校では先日6月19日(金)に「令和8年度 体育祭 燎」を開催いたしました。本祭当日は曇天ではありましたが、6月中旬とは思えないほどの涼しい気候の中での開催となりました。

各クラスが年に一度の行事を楽しもうとお揃いのクラスTシャツを着用していたほか、有志の学生がコスプレや仮装をしながら競技に参加する姿が見られました。また、クラス内での応援だけではなく、学科対抗綱引きや学科対抗リレーでは、それぞれの学科の学生が自学科に限らず、競技を行っている全ての選手へ声援を送るなど、とても温かみのある様子でした。

競技結果は、学科優勝が生産システム機械コース、クラス優勝が4年生産システム機械コース、クラス準優勝が5年生産システム機械コースとなりましたが、どの学科、クラスもとても奮闘していて、お昼頃にはさほど点数に差がなく、結果が読めない白熱した戦いでした。

そして、今年度から新競技として、障害物競走、パン食い競争、玉入れに相手チームの妨害をするブロッカーの導入など、例年にはない新たな種目や工夫に挑戦しました。これらの競技について、参加した選手や観戦していた学生からは、「楽しかった」、「とても新鮮だった」等の意見が多く、学生会として学校を盛り上げることができ、充実した体育祭を行えた、学生会役員一同で実感いたしました。

最後に、学生の皆様の積極的な参加とご協力により、体育祭を無事に開催することができました。ご参加いただいた学生の皆様、ならびに運営業務に携わった学生会役員、そして開催にあたり多大なるご協力をいただいた先生方に、心より感謝申し上げます。



授業参観・保護者懇談会実施報告

令和8年5月30日（土）に授業参観・保護者懇談会を実施しました。

今年度は土曜日開催ということもあり、昨年度の246名を大きく上回る431名の保護者の皆さまにご参加いただきました（学年ごとの参加者数は表1のとおりです）。

表1. 各学年の参加者数（保護者）

内訳	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	合計
参加者数	155名	96名	94名	54名	32名	431名



授業参観後に実施した保護者アンケート（回答数67）では、「学校の雰囲気はよかったですか」という設問に対し、60名（約9割）の方から「はい」との回答をいただくなど、授業や学校の様子について全体的に高い評価をいただきました。

また、「教員に期待すること」としては、分かりやすい授業や学ぶ楽しさを実感できる授業づくり、学習面でのきめ細かな支援を求める声が多く寄せられました。「学校に期待すること」としては、学業面のフォロー体制の充実、進路支援の強化、安心して学べる教育環境の整備などが挙げられました。

さらに、土曜開催や教職員の対応、授業・学校生活への支援に対する感謝の声を多数いただいた一方で、授業態度や生活指導に関するご意見・ご要望も寄せられました。

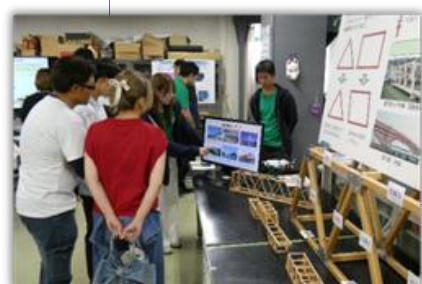
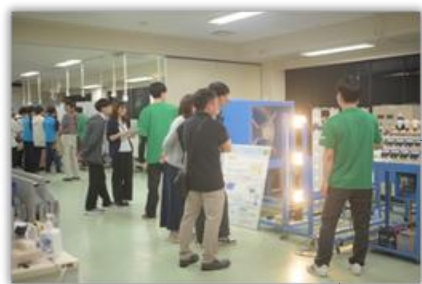
保護者懇談会では、単位制度や成績評価、TOEIC・英検などの資格試験、留学制度や海外インターンシップに関する質問が個別に寄せられました。これらに対して、学校からの情報提供は主にTeamsや学校ホームページを通じて行っていることを説明するとともに、留学支援制度や英検取得による単位認定制度についても紹介しました。

いただいた貴重なご意見・ご要望は学校全体で共有し、今後の教育活動および学校運営の改善に生かしてまいります。

（教務主事 山本 けい子）

広報イベント実施報告

中学3年生対象学校説明会・オープンキャンパスの開催



令和8年6月13日（土）、中学3年生を対象とした学校説明会・オープンキャンパスを本校で開催しました。

本イベントは、理工系の学びやものづくりに興味・関心のある中学生とその保護者の皆さまを対象に、キャンパスを開放し、各学科・コースが企画した特色ある展示や体験を自由に見学・体験ができるイベントです。実際の教育・研究活動に触れながら、本校ならではの雰囲気や学生生活を身近に感じていただける機会となっています。今年度は、市内だけでなく市外からも多くの方にご来場いただき、生徒・保護者あわせて約350名にご参加いただきました。

当日は、各学科・コースによる体験・展示への参加をはじめ、学校説明会や校内ガイドツアーなどを通して、高専ならではの学びやキャンパスの魅力を楽しみながら体感していただきました。参加者は教員や学生との交流も交えながら、進路選択への理解を深めている様子でした。

高専体験DAY2026の開催

令和8年7月4日（土）、本校広報委員会の企画により、「高専体験DAY2026」を開催しました。

本イベントは、理系分野やものづくりに興味・関心のある中学生とその保護者の皆さまを対象に、本校ならではの特色ある授業や実験・実習を実際に体験していただくイベントです。今年度は、市内はもちろん、市外・道外からも多くの方にご来場いただき、生徒約130名、保護者を含めると約270名にご参加いただきました。

当日は午前・午後に分かれ、それぞれ異なる学科・コースの体験プログラムを実施しました。参加者は実際に手を動かしながら学ぶ高専ならではの授業を体験し、ものづくりの楽しさや理工系分野の面白さを実感している様子でした。

また、学校説明会や校内ツアー、寮相談室にも多くの方が参加し、本校の教育内容や学生生活について理解を深めていただく機会となりました。



（広報副委員長 柳谷 俊一）

令和 8 年度高専体育大会 北海道地区予選結果

令和 8 年度の高専体育大会北海道地区予選は、7 月上旬から中旬にかけて高専の所在地である函館、旭川、苫小牧、釧路で開催されました。函館地区では、バスケットボール(函館サーモン・まるなまアリーナ、メインアリーナ)、ハンドボール(函館サーモン・まるなまアリーナ、サブアリーナ)、テニス(千代台公園庭球場)、卓球(函館高専体育館)の 3 種目が開催されました。

各種目の試合結果を下表のとおりお知らせします。上位入賞された団体・個人のみなさん、おめでとうございます。
(学生主事 平沢 秀之)

種目	担当高専	実施期間	結果
バスケットボール(男子)	函館	7 月 1 1 日・1 2 日	準優勝
バスケットボール(女子)			優勝
テニス	函館	7 月 4 日・5 日	・団体戦優勝 ・男子シングルス 優勝：大谷 舜(2SE) 準優勝：羽島 鉄生(2SM) ・男子ダブルス 優勝：大谷 舜(2SE)・羽島 鉄生(2SM)
バドミントン	旭川	7 月 1 8 日・1 9 日	・女子団体準優勝 ・女子シングルス 優勝：奈良 青衣(2Z) ・女子ダブルス 優勝：奈良 青衣(2Z)・及川 詩音(11)
野球	旭川	7 月 3 日・4 日(5 日)	
バレーボール(男子)	苫小牧	7 月 3 日・4 日	優勝
バレーボール(女子)			
ハンドボール	函館	7 月 1 1 日	優勝
サッカー	釧路	7 月 1 1 日・1 2 日	
陸上	記録によるエントリーをもとに組織委員会で決定		
ソフトテニス	苫小牧	7 月 1 1 日・1 2 日	
卓球	函館	7 月 1 1 日・1 2 日	
アーチェリー	釧路	7 月 1 1 日(1 2 日)	・男子個人 優勝：中村 匠見(5C)
水泳	記録によるエントリーをもとに組織委員会で決定		



優勝 バレーボール (男子)



バドミントン 女子ダブルス優勝
奈良さん・及川さん

洋上風力人材育成 プログラム について

2年目を迎えた「洋上風力」分野の 高度理系人材育成について

プロジェクトリーダー
社会基盤工学科 宮武 誠

洋上風力発電の促進区域に指定されている秋田・八戸・函館の3高専が拠点校となっている「再生可能エネルギー(風力)」分野の高度理系人材育成事業も2年目を迎えました。この事業は、COMPASS5.0(次世代基盤技術教育のカリキュラム化)の一環として行われているもので、洋上風力人材育成推進協議会(ECOWIND)、国、道県、産業界、大学等と連携を図り、再生可能エネルギー分野を牽引し、産業界全体を支える高度理系人材の育成を目指すプログラムです。



「風と海の学校あきた」トレセン現地研修の様子(令和8年2月開催)

昨年度から始まった「洋上風力履修プログラム」は、3学年～5学年までに所属する学科の洋上風力関連の専門科目を軸足にして、他学科の洋上風力関連専門科目を分野横断で効率よく習得できるよう設計された履修プログラムです。5学年後期には、総まとめとして、これまで学んできた各学科の洋上風力関連科目をベースに、洋上風力技術に特化した最新技術を学ぶ洋上風力通論により更に専門性を高めることができます。また、3拠点校のある海域は洋上風力発電の促進区域であることから、適地選定、合意形成、計画・設計、施工、運用管理といった洋上風力技術の一連のプロセスを現場研修を通じて、実践的に学ぶことができ、本校で開講する座学と並行して教授できる特徴があります。昨年度10名程度であった受講生も、今年度は30名程度に増え、学生の再生可能エネルギーに対する関心も徐々に高まっていることを感じます。



松前町 風力施設建設現場の視察(令和8年4月開催)

昨年度からの受講生は、4学年になり、電気電子に関連する洋上風力関連専門科目を他学科横断履修として受講するとともに、今年度2月には「風と海の学校あきた」トレーニングセンターの見学研修をはじめ、松前町の風力建設現場研修(4月)、洋上風力技術フォーラム in 江差(5月)、6月には函館港に点検のため寄港した洋上風力発電向け作業船(CTV)の見学会など数多くの現場研修やフォーラムを開催しています。今後も洋上風力関連の業界ヘイインターンシップの参加やシンポジウムの開催が予定されており、地域社会との連携を志向しつつ、再生可能エネルギー関連分野を切り拓ける高いポテンシャルを有する人財育成を加速させていく予定です。



洋上風力技術フォーラム in 江差町(令和8年5月開催)



洋上風力発電向け作業員輸送船(CTV)
「RERA AS」見学会(令和8年6月開催)

新任教員紹介



生産システム工学科
電気電子コース 助教
工藤 淳平

令和8年4月1日 採用

生産システム工学科・助教に着任いたしました、工藤淳平です。出身は電気電子コースで三島先生の下で本科と専攻科に在学中、勉強させていただきました。専門は電力系で、中でも電力とAIの融合について研究しています。3年前に函館高専の専攻科を卒業し、将来の夢は函館高専で教員をやることと考えておりました。早くに夢が叶ったことを非常にうれしく思っています。私の在学中と学生の皆さんは変わっておらず、廊下ですれ違ったときに挨拶を返してくれるのは良い環境だと感じています。

多くの先生方が私にしてくださったように学生の皆さんをサポートし、皆さんの夢を叶えられるように努力していきます。まだまだ至らないことが多いかと思いますが、皆さんと一緒に成長していく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

【趣味】

探しています。いい趣味があったら教えてください。

今年度4月に物質環境工学科・助教に着任しました、伏見凌太（ふしみ りょうた）と申します。どうぞよろしくお願いいたします。私の専門は燃焼化学・量子化学です。主な担当科目は全ての化学の基礎理論となる「物理化学」と、マクロな視点でそれらを取り扱う「化学工学」です（ただ、どちらも内容的に苦手と感じる学生が多い科目です……）。

理論系科目の学習では、数式を言葉として理解して扱うことが重要で、理解できると一気に楽しくなります。現在は、学生の「分かった！」や「これまでの学習内容とつながった！」という声を聴くために気合を入れて授業に臨んでいます。また、現在は多くの学生さんとお話をする機会があり非常に楽しく思います。

困ったときはいつでもご相談ください！

【趣味】 あざらしグッズ収集



物質環境工学科
助教

伏見 凌太

令和8年4月1日 採用

新任教員紹介



一般系（数学） 助教
青木 侑省

令和8年4月1日 採用

4月より函館高専一般系（数学）に着任いたしました青木侑省です。専門は微分幾何で、曲がった空間の上にある“直線”のようなものを磁場によって曲げた曲線を使って空間の形状を調べる研究をしております。

函館高専の皆さんには、数学を学ぶ上で「具体例」と「イメージ」を大切にしてほしいと思っています。高専数学では一般化された抽象的なものを扱うようになっていきます。そういったものを扱う際に、まず一番簡単な「具体例」を用いて定義や行なっている操作の「イメージ」を掴むということを行うと少しだけ数学が楽しくなるかもしれません。

【趣味】 ウイスキー



一般系・助教に着任いたしました、栗津と申します。専門は解析学で、中でも作用素環論を研究しています。よろしく申し上げます。北海道に住むのも教員をするのも初めての経験ですが、毎日刺激を受けて楽しく過ごしております。写真は新任の小林先生と八甲田山に登った際のもので、このように休日は様々な場所にお出かけしています。

さて、高専生の皆さんには、抽象的な数学よりも実践的な工学に関心のある方も多いかと思います。工学の勉強には数学が必要と言われて辟易しているかもしれません。ですが、工学者にもシャノンやヘヴィサイドのように、工学者の実践的な視点から、数学に革新をもたらした方がたくさんいます。皆さんには、是非21世紀のシャノンを目指して、工学も数学も楽しんでいただけたら幸いです。

【趣味】 数学、登山、水泳、音楽鑑賞



一般系（数学） 助教

栗津 光

令和8年4月1日 採用

新任教員紹介



一般系（物理） 准教授

小林 健太郎

令和8年4月1日 採用

4月から函館高専でお世話になっております小林です。いろいろな材料をミクロな視点で解析するような研究に携わってきました。一般系の物理の授業を担当しております。

授業をしたり、同じ新任の先生の授業準備の話を聞いたりしていると、高校のときに読んだ、本に書いてあった数式やそれを表す図形の話などが、その時に見た新鮮さをいまだに保ちながら、テキストの背後・行間に立ち現れてくるのを感じることがあります。

また、教科書に書いてある現象のイメージ——なんとなく感じるつながり——が、実はちゃんと方程式に書き下ろしてみると別物かもしれないと思うようになり、実はそこに重要そうな観念が含まれていたり、高専での授業を通して、日々改めて刺激を受けています。

【趣味】 散歩

新任事務職員等紹介

3月までは北大で勤務しており、主に財務・企画系の仕事として「これからどうしていこうか」を考える業務に携わってきました。正直、高専のことはまだまだ勉強中ですが、高校約5,000校、大学・短大約1,000校に対し、高専は全国58校。教育機関の中でも、なかなかの希少性があります。実際に働いてみると、知れば知るほど奥が深く、「15歳からの高等教育」という、高校とも大学とも違う高専ならではの魅力を日々実感しています。

函館は以前から大好きで、あこがれていた函館生活が始まりました。皆さんと一緒に、函館高専をさらに活気と魅力のある学校にしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

【趣味】

野球全般（プレーも観戦も！）

DIY・家庭菜園（つくることが好きです！）

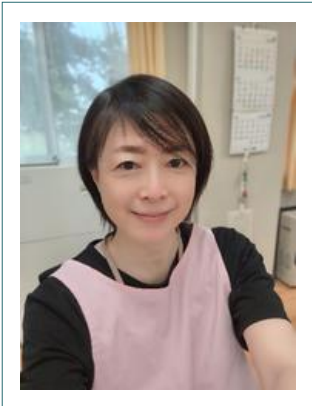


総務課 課長

駒井 孝博

令和8年4月1日 着任

新任事務職員等紹介



学生課 非常勤看護師
水山 理恵

令和8年4月1日 採用

4月より、非常勤看護師として、8：30～15：15の時間帯で勤務しています。

専門的な学びや研究、部活動など打ち込む皆さんが、心身ともに健康で充実した学校生活を送れるよう、体調面からサポートさせていただきます。

循環器科（心臓や血管）や手術室での経験が長く得意な分野ですが、内分泌（ホルモン）や検査外来にも勤務経験があります。ケガや体調不良だけでなく、健康面で何か心配な事があれば、お気軽にご相談ください。よろしくお願いします。

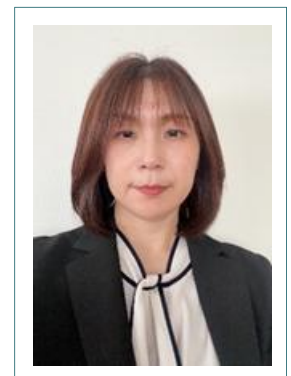
【趣味】 ファイターズ応援、ポケ活、読書

令和8年4月1日より総務課総務係の事務補佐員として勤務しております石井彩子と申します。

まだ至らない点も多くありますが、早く業務を覚え、皆様のお役に立てるよう丁寧な対応を心がけてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。

【趣味】 トールペイント



総務課総務係 事務補佐員
石井 彩子

令和8年4月1日 採用

北斗市出身です。函館の高校を卒業後、理系の大学を経て、埼玉県でエンジニアとして勤務しておりました。縁あって4月1日より総務課の非常勤職員として勤務しております。

事務職は未経験ですが、周囲の方々に温かく支えていただき、感謝の毎日です。学生の皆さんが安心して勉学や部活動等に励めるよう、微力ながらお役に立ちたいと思います。

また、函館という素晴らしい環境で、仕事や趣味ができることを嬉しく思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【趣味】 ギター、キーボード、テニス、スキー、観葉植物



総務課人事係 事務補佐員
平田 敏彦

令和8年4月1日 採用

新任事務職員等紹介



総務課図書・情報係

事務補佐員

中者 みゆき

令和8年6月1日 採用

6月より総務課・図書情報係として採用された中者です。今年から初めて家庭菜園を始めました。野菜の成長が毎日の小さな楽しみになっています。

図書館で勤務するのは初めてなので不慣れな点も多いと思いますが、学生たちが居心地よく利用しやすい図書館づくりに努めたいと思いますのでよろしくお願いいたします。図書館で困ったことがあれば、気軽に声をかけてくださいね。

【趣味】 アニメ鑑賞、読書、家庭菜園、温泉



初めまして。6月から図書館にて勤務しております、山田咲良です。

図書館で働かせていただくのは初めてなので、毎日が新鮮でわくわくしながら過ごしています。学生の皆さんが借りている本を見ると、資格試験に向けての対策本や専門書など難しい内容のものも多く、「かっこいいな」と思っています。私も皆さんのように日々精進していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

【趣味】 ラジオを聴くこと、こうもり探索



総務課図書・情報係

事務補佐員

山田 咲良

令和8年6月1日 採用



今後の主な行事予定



高専祭（10月）

令和8年

- 9月24日（木） 後期授業開始（専攻科）
- 9月27日（日） ロボコン地区大会（旭川）
- 9月28日（月）～ 9月30日（水） 特別指導期間
- 10月 1日（木） 後期授業開始（本科）
- 10月24日（土）～10月25日（日） 高専祭
- 11月 7日（土）～11月 8日（日） デザコン全国大会（函館）
- 11月15日（日） ロボコン全国大会（東京）
- 11月26日（木）～12月 2日（水） 後期特別時間割
- 12月25日（金） 学生会役員選挙
- 12月26日（土）～ 1月11日（月） 冬季休業期間



ロボコン地区大会（9月）

令和9年

- 2月 1日（月） 特別研究Ⅱ発表会
- 2月 2日（火）～ 2月 8日（月） 学年末試験（本科）
- 2月 3日（水）～ 2月 9日（火） 学年末試験（専攻科）
- 2月 9日（火）～ 2月15日（月） 卒業研究発表会
- 2月18日（木） 学年末スポーツ大会
- 2月19日（金） 終業式
- 2月22日（月）～ 2月25日（木） 特別指導期間
- 2月26日（金）～ 学年末休業期間
- 3月16日（火） 卒業式・修了式



学年末スポーツ大会（2月）



本校公式ソーシャルメディアのご紹介

本校では4つの公式ソーシャルメディアを運用しています。

これらの公式ソーシャルメディアは、在校生とその保護者、及び本校への入学を志望者とその保護者が本校の理解を深める機会を提供することを目的としたもので、本校の様々な活動や魅力等を発信します！
本校ソーシャルメディアサービス運営方針はこちら



函館高専



函館高専図書館



学校だより 第222号 令和8年9月発行
発行 函館工業高等専門学校広報委員会
〒042-8501 函館市戸倉町14番1号
TEL : 0138-59-6485
FAX : 0138-59-6330